

2019年3月20日

関係者各位

社会調査士（第十七回） 専門社会調査士（第十六回）  
科目認定に関する報告とお願い

一般社団法人社会調査協会  
科目認定委員会 委員長 小内 透

このたびは、社会調査士および専門社会調査士の認定科目をご申請いただき、厚く御礼申し上げます。

科目認定委員会では、1月～3月の間に3回の委員会を開催して慎重な審査を重ね、下記のとおり科目認定を行いましたのでご報告申し上げます。なお審査の詳細につきましては「科目認定審査の基準」をご覧ください。

**科目申請数**

- ・全申請機関数：278 大学 351 機関  
（内訳）212 大学 272 機関 66 大学院 79 機関
- ・全申請科目数：2,936 科目  
（内訳）社会調査士科目：2,662 科目 専門社会調査士科目：274 科目

**科目認定数**

- ・全認定科目数：2,934 科目  
（内訳）社会調査士科目：2,660 科目 専門社会調査士科目：274 科目

以下に G 科目に関する報告書類についての連絡、および今後の申請に関するお願いを記載いたしますので、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

◆実習科目（G 科目）の報告書類について

(1) 「調査実習概要報告書」について

「調査実習概要報告書」を必ず提出していただきますようお願い申し上げます。未提出の大学に対しては督促をさせていただくこともございます。不開講等の事情によりご提出できない場合は「不開講等届」(B-3-5)をご提出願います。

(2) 「調査実習概要報告書」の WEB 公開について

「他の大学が G 科目にどのように取り組んでいるのか参考にしたい」という教育現場か

らの要望に応えるため、社会調査協会では「調査実習概要報告書」をウェブサイトにおいて公開しております。ご活用ください。

(3) 「調査実習成果報告書」提出後の取扱いについて

「調査実習成果報告書」のうち冊子体として印刷・製本されているものにつきましては、原則として一定期間（1年程度）事務局で活用、保管した後、国会図書館に寄贈しております。寄贈を希望されない場合は、「国会図書館への寄贈辞退届」（B-1-7）をご提出下さい。なお、国会図書館に寄贈されなかったものにつきましては、社会調査協会の責任で適切に廃棄させていただきます。既に国会図書館へ寄贈されたものにつきましては、国会図書館へお問い合わせください。

◆申請期間厳守のお願い

多くの資格参加校の連絡責任者の先生方に科目申請の締切りを厳守していただき、順調に認定審査を進めることができました。厚く御礼申し上げます。

今後の申請におきましても締切り厳守のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

連絡責任者の先生方には、様々な点でご負担をおかけしております。科目認定の運用につきましては、今後も連絡責任者の先生方のご意見やご要望を十分にお聞きしながら、よりよい方法を検討していきたいと考えております。引き続き今後ともよろしくお願いいたします。